

科目責任者 石橋 賢一（病態生理学研究室）

■ 教育目的

医療薬学の基本および主な疾患の病態生理の概略を把握し、病態に即した薬物治療選択の組み立てが理解できる能力を養う。主要な薬物について薬理作用、病態が体内動態におよぼす影響、重要な有害事象などについて、マルチメディアを活用し学習する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③】

■ 学習到達目標

1. 神経・精神・腎・血液内分泌疾患の重症度が評価できる。
2. 神経・精神・腎・血液内分泌疾患の薬物療法を説明できる。
3. 薬物治療における新しい薬剤師像がイメージできる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：シラバスに提示した講義内容の予備調査（20分）

復習：当該日の講義内容の確認と補足調査（40分）

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	精神・神経疾患-1	うつ病・双極性障害の病態と薬物治療	E2(1)-③
2	精神・神経疾患-2	統合失調症の病態と薬物治療	E2(1)-③
3	精神・神経疾患-3	不安神経症の薬物治療	E2(1)-③
4	精神・神経疾患-4	不眠症の薬物治療	E2(1)-③
5	神経・筋の疾患-1	てんかんの病態と薬物治療	E2(1)-③
6	神経・筋の疾患-2	アルツハイマー病、頭痛	E2(1)-③
7	神経・筋の疾患-3	パーキンソン病、末梢神経・筋障害	E2(1)-③
8	腎疾患-1	A K I、ネフローズ症候群	E2(3)-③
9	腎疾患-2	C K D、透析、泌尿器疾患	E2(3)-③
10	腎疾患-3	酸塩基・電解質異常	E2(3)-③
11	内分泌疾患-1	甲状腺～副腎疾患	E2(5)－②
12	内分泌疾患-2	下垂体～生殖器	E2(5)－②
13	血液疾患-1	貧血～凝固異常	E2(3)-②
14	代謝疾患-1	骨代謝	E2(2)－③
15	代謝疾患-2	痛風	E2(5)－①

■ 授業分担者

A・B 組共通／越前宏俊（No.1～5）、石橋賢一（No.6～10）、庄司優（No.11～13）、池上洋二（No.14,15）

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末・中間試験（90％）および出席状況・授業態度（10％）で総合評価を行う。レポートなどあればそれも考慮する。

■ 教科書

『今日の診療』（MY-PORT＞医療人 GP サイト内）、講義プリント

■ 参考書

『図解 薬理学 第2版』越前 宏俊（医学書院）

『標準医療薬学シリーズ「薬物治療学」』越前 宏俊・鈴木 孝 編（医学書院）

『改訂新版 臨床検査 基準値ノート』河合 忠・庄司 優 編（薬事日報社）

指定参考書 Navigate シリーズ：『神経疾患』『腎疾患』石橋賢一（医学書院）